



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



1月15日、JA雨竜支所にて雨竜町メロン部会の40周年記念式典が開催された。

→記事の詳細は3ページ

農業振興を通じて
地域社会へ貢献

20th

JAきたそらち創立20周年
- SINCE 2000 -

目次

- 「JAきたそらち地域農業応援団」
第5回応援団会議・解散式 2
- うりゅう米生産組合
うりゅう米の取引先スーパー従業員にパックご飯を寄贈... 4
- 第21回 JAきたそらち青年部通常総会 5
- JAきたそらち女性部
「SDGsかるた」を保育施設へ寄贈 7

JAきたそらちでは、
ホームページとFacebookで、
魅力満載の情報を発信中です！
ぜひ、ご覧ください！

ホームページ



Facebookもチェック



「JAきたそらち地域農業応援団」 第5回応援団会議・解散式



1月13日、准組合員を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第5回応援団会議と解散式がJA本所で開催された。今回は団員8名のうち7名が出席し、これまでの同会議の活動報告やJA役職員との意見交換会、感謝状の贈呈式などが行われた。

開会にあたり、柏木孝文組合長は「准組合員である団員の方々に、施設見学や収穫・加工体験を通し、地域の農業や当JAの事業などについて少しでもご理解頂けるよう応援団活動を進めさせて頂いた。今年度の応援団を卒業された後も、地域農業に関心を持って頂き、また関連行事等にも参加して頂きながら、引き続き地域の農業や当JAを応援してほしい」と挨拶した。続いて、遠藤康博総務部長が第4回までの活動内容や、団員からの第4回までの感想等を報告し、次にJA北海道中央会岩見沢支所の遠藤俊氏がJAグループ北海道の概要として連合会それぞれの役割や同グループの使命などを説明した。

意見交換会では、「地域貢献のためにJAきたそらちが取り組むべき方向性」をテーマに、団員とJA役職員が4班に分かれグループ討議を行い、団員からは「地産地消を促進するため、地元の農畜産物をもっと地元の身近なところで買えるようにしてほしい」、「地元の子も達や地域住民が参加できる農業体験や出前講座などの機会を増やし、よりJAの事業をPRしてみては」、「応援団活動の中で農福連携の現場を見学し、この取り組みをもっと地域の方々にPRした方がいいと思った」などといった意見が出された。

その後、柏木組合長より団員それぞれに1年間の活動をねぎらい感謝状が手渡され、最後に今年度の団員の推薦により決められた次年度の応援団員13名の紹介が行われた。参加した団員は、「1年間美味しく楽しく学ぶことができて大変満足」「身近にあったのに知らなかったJAの事業などを学び、よりJAを身近に感じるようになった」「第5回までで学んだ地域農業やJA事業について周りの人に紹介したい」などと感想を話す。

次年度も新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、4月より計5回の活動を行う予定となっている。



販売部

「ゆめぴりか」生産組合 第9回通常総会

1月19日、「ゆめぴりか」生産組合（岡田徹組合長）が第9回通常総会を開催し、組合員24名が出席した。

岡田組合長は開会にあたり、新型コロナウイルスの影響により予定していた行事が開催できなかった事についてのお詫びや、昨年の作柄、販売情勢について述べ、挨拶とした。議事では、山田剛氏（一巳地区）を議長に選出し、令和2年度の事業・決算報告、令和3年度の事業計画などが原案通り承認された。

【米穀課 松田】



雨竜町メロン部会 設立40周年記念式典

青果部

1月15日、雨竜町メロン部会（橋本貴之部会長）の設立40周年記念式典がJA雨竜支所で開催され、部会員や町役職員、JA関係者など28名が出席した。

雨竜町では昭和56年、町内21戸の生産者がビート育苗ハウスの跡利用としてメロン栽培を始め、それに伴い同部会を設立。同年、滝川地方卸売市場（株）の指導のもと共選規格を決め、同市場を中心に出荷を開始した。平成に入ると道外市場へのお荷も始まり、平成3年には、部会員数が106戸まで増え、年間3億2千万円の販売額を上げた。その後、同部会では平成21年より部会員全戸がエコファーマーを取得するなど、安心・安全なメロン生産に力を入れてきたが、高齢化や後継者不足、経営面積増加等の影響を受け、作付面積および部会員数が減少。令和2年度には、部会員数が26戸まで減少したものの、コロナ禍で需要が減少している中、年間6千8百万円の販売額を上げた。

式典では、開会にあたり、橋本部会長が「当部会は各関係機関や市場、そして地域の生産者の皆様に支えられ40周年を迎えることができた。時代の流れでなかなか作付面積が増えない実情もあるが、この先も各関係機関と連携し、まずは50周年を目標に、北海道を代表する青肉メロンの産地として、今後も部会の皆様とメロンを生産していきたい」と挨拶した。続いて来賓の西野尚志雨竜町長とJA岩田清正専務から祝辞が述べられた後、谷本貴志副部会長より同部会40年のあゆみが報告された。また歴代の部会長には感謝状と記念品が授与され、平成21年から22年まで部会長を務めた志部谷雄一氏が代表として謝辞を述べた。

式典の後には第40回定期総会が開催され、令和2年度メロン出荷共励会表彰や議事、また役員改選が行われた。新部会長に就任した谷本氏は「諸先輩方々の努力の賜物により、40周年を迎えられた。これから任期の2年間は部会長として、部会員や関係諸団体の方々に協力して頂きながら、50周年に繋げられるよう頑張っていきたい」と意気込む。





うりゅう米生産組合

うりゅう米の取引先 スーパー従業員にパックご飯を寄贈

うりゅう米生産組合（遠藤清明組合長）は、日頃うりゅう米を取り引き頂いている道内のスーパーマーケットの従業員へ「うりゅう米パックご飯」を寄贈した。新型コロナウイルスの感染拡大が続く状況において、レジ対応や商品棚への補充など感染リスクが高い中で「うりゅう米」を販売して頂いている感謝の気持ちとして、「うりゅう米パックご飯」合計250個を3店舗へ発送した。

遠藤組合長は、「コロナ禍の中での消費者の日常生活は、医療従事者等だけではなく小売店等で販売業務を遅延なくこなして頂いている従業員の方々にも支えられている。我々産地としても、農産物収穫後の物流から消費者へ届くまでに関わる全ての方々を思い、今まで以上に良質で安全な農産物の生産に励んでいきたい」と話す。

受け取ったスーパーマーケットからは、「コロナ禍で大変なのはお互い様ですが、生産組合のお気持ちに感謝します」とお礼の言葉をいただいた。

【雨竜支所 高木】



幌加内町
もち米生産組合

鏡餅を贈呈

12月23日、幌加内町もち米生産組合が鏡餅の贈呈を行い、古林茂組合長と中西博副組合長が当JAと幌加内町の2か所を訪問した。

同生産組合では、一年の出荷を無事終えたことへの感謝と翌年の豊作を祈願して毎年贈呈を行っている。鏡餅は下段が直径21cm、上段が直径18cm、重さは約6kgあり、同町の「北里もちそば組合 片田舎」が同町産の「はくちょうもち」3升を使い作成した。

【幌加内支所 墓田】



営農センター



幌加内町



組合長による年頭訓示 今年リモート形式で実施

当JAでは、1月6日の仕事始めの際に行われる組合長による年頭の訓示をリモート形式で実施した。例年は、仕事始めの日にJA役職員を一堂に会して行われる新年交礼会にて、組合長による年頭挨拶が行われるが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から交礼会を中止とし、営農センターでの柏木孝文組合長による年頭訓示を、ウェブ会議ツール「Zoom」を使ってJA事業所10拠点を繋ぎリアルタイムで配信した。

年頭訓示の中で柏木孝文組合長は、「本年は第7次農業振興計画、農協経営計画の2年目となる。組合員の負託に応え『日本一の米産地』実現に向け、若い職員の考え意見を積極的に取り入れ、組合員との密着力強化を進めながら農協独自の取り組みを実践し、組合員の農協回帰の礎を築きたい。そして米の需給環境悪化からも本年は正念場である。北海道の農業、地域の農業、そしてJAきたそらち管内の組合員を守り、地域経済の核となる農協であるよう、役職員一丸となって元気に頑張っていきましょう」と役職員に対して呼びかけた。



第21回 JAきたそらち青年部通常総会

1月14日、JAきたそらち青年部（加藤亮部長）の第21回通常総会が当JA本所大会議室にて開催された。今年度については、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、委任状による出席を認め最低限の人数で行われた。

開会にあたり、加藤部長（北竜支部）は「今年度はコロナ禍で様々な青年部活動や行事が中止となったが、スノーメッセージ制作や女性部とJA常勤役員との懇談会、ホクレンくるるの杜での農産物販促など、数少ない活動ではあったものの有意義に行うことができた。このような状況下で人とのつながりが弱くなっているなか、いま一度青年部が一丸となってこの状況を乗り越えていきたい」と挨拶した。

議事では、納村憲明氏（多度志支部）を議長に選出し、事業報告並びに決算、計画議案が原案どおり承認され、また役員改選が行われた。令和3年度の本部長を務める西田展好氏（多度志支部）は、「昨年はコロナ禍により部員交流会などが中止となったため、今年は感染拡大状況を鑑みながら部員の親睦を深める活動を行いたい。また、部員の減少が進み青年部活動が難しくなっているため、今年1年の活動の中で青年部組織の構造を見直していきたい」と就任への意気込みを語った。

尚、新役員は右記の通り。

【営農企画課 石野】



役 職	氏 名	支 部
部 長	にしだ のぶよし 西田 展好	多度志
副 部 長	くわの ゆうすけ 栗野 佑介	深 川
副 部 長	ながおか ゆういち 長岡 祐一	音 江
常任理事	おおい けん たろう 大井賢太郎	一 已
常任理事	よつじ かずや 四辻 和也	北 竜
常任理事	ながかわ ひろや 中川 祐哉	幌加内
理 事	さき 名 しゅうた 先名 翔太	一 已
理 事	ちかざわ しんご 近澤 信吾	音 江
理 事	の なか りょう 野中 涼	深 川
理 事	たにおか たくや 谷岡 拓弥	納 内
理 事	のうむら 憲明 納村 憲明	多度志
理 事	いわた しゅうや 岩田 祥也	雨 竜
理 事	で ぐち ゆうだい 出口 雄大	北 竜
理 事	むらかみ かつひこ 村上 勝彦	幌加内
代表監事	は せ がわあきお 長谷川明生	納 内
監 事	かなやま ゆう た 金山 勇太	雨 竜

JAきたそらち女性部 マスクケースを医療施設へ寄贈

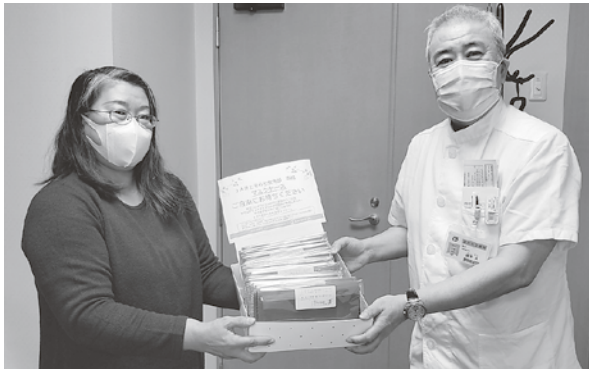
JAきたそらち女性部は、JA空知女性協議会との共同事業として日々厳しい環境の中で闘っている医療従事者の方々や病と闘っている患者の方々へ、部員が心を込めて縫った「マスクケース」190個をJA管内1市3町6か所の医療施設へ寄贈した。

マスクケースは、使いかけ、もしくは使い終わった後のマスクを入れて持ち運び他にも、替え用の新しいマスクを数枚入れて持ち運ぶなど用途がある。食事の際、使いかけのマスクを外してテーブル

の上に置くと、ウイルスが付着する恐れがあり簡易的なマスクケースを出してくれる飲食店も増えてきている。そのような時、一人ひとりがマスクケースを持参して、一時的にマスクを入れてカバンに入れる習慣が根付けば、感染拡大防止の一助にもなる。

寄贈した医療施設からは、「引き続き気を緩めることなく住民の皆さんが安心して生活できるよう努めたい」と心強いお言葉をいただいた。

【営農企画課 墓田】



深川市立病院



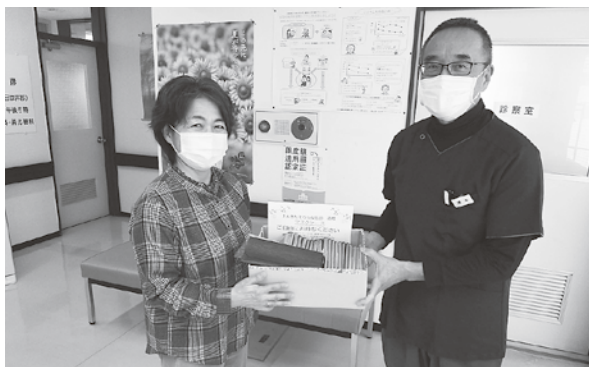
深川市立納内診療所



深川市立多度志診療所



(医)アンリー・デュナン会 新雨竜第一病院



北竜町立診療所



幌加内町立幌加内診療所

JAきたそらち女性部 「SDGsかるた」を保育施設へ寄贈

JAきたそらち女性部は、JA全国女性組織協議会が制作した「JA女性組織フレッシュミズSDGsかるた」をJA管内1市3町14か所の保育施設へ計41セット寄贈した。

「SDGs（持続可能な開発目標）」は、「地球上の誰ひとり取り残さない」取り組みとして、2015年国連サミットで採択され、2030年までに達成することをゴールとした長期的な開発目標となっている。

この「SDGsかるた」を使って子ども達に楽しみながら「ひらがな」とSDGsを学んで欲しいことから今回の寄贈に至った。かるたの中には「健康は食べることから始まるよ」「ひとごとにしてはダメだよSDGs」という札に加え、「相談はまかせて安心JAへ」などJAに関する札もあるなど、いずれも子ども達が大人になっても心に残っていて欲しい内容で作られている。子供たちは思いがけないプレゼントに満面の笑みで喜んでいた。

【営農企画課 墓田】



北光保育園(イチャン支部)



音江中央保育園(音江支部)



深川西町保育所(深川支部)



わかば認定こども園(納内支部)



認定こども園深川あけぼの保育園(多度志支部)



雨竜町保育園(雨竜支部)



北竜町立やわら保育園(北竜支部)



(福)恵信福祉会 双葉保育園(幌加内支部)

贈呈先保育施設一覧

地域	園名
深川	新中央保育園
	納内保育園
	たどし認定こども園かぜっこ
	認定こども園深川あけぼの保育園
	深川西町保育所
	北光保育園
	音江中央保育園
	わかば認定こども園
雨竜	学校法人 北海道ルーテル学園 深川めぐみ幼稚園
	学校法人 深川竜谷学園 深川幼稚園
雨竜	雨竜町立保育園
北竜	北竜町立やわら保育園
幌加内	社会福祉法人 恵信福祉会 双葉保育園
	みゆき保育園



石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第12回

「土づくり」同様に「人づくり」も

こうしてJAきたそらちの組合員の皆さんに隔月にてメッセージを送り、早いものでもう満2年が経とうとしています。この間、人材開発支援アドバイザーという立場から、主に貴JAの職員研修に携わってまいりました。その一つが「昨年から若手リーダーの方々に対する「サムライ塾」で、組織を変える先兵」としての期待を託して。それに加え今年度からは、新たに「自分塾」を展開。組織を変えるには「まずは上から」を基本に据え、部下を預かっている管理者層に対し「マネジメントの基本」を軸にしながら、この2つの塾生の方々が、「少しでも自分を変えるきっかけ」になってくれればとても嬉しいです。また、それとは別に、縁がありJAきたそらちに入組された新入職員の皆さんには「組織人としての心構え」などを内容として新入職員研修やフォローアップということでも。こうした機会に恵まれたことを非常に光栄に存じております。

私がこうして講師を生業にし、かれこれ四半世紀。その中で最もやりがいや充実感を覚えるのは「先生と出会えて良かった」等に類するメッセージを頂戴した時で、講師冥利に尽きる心境になってきます。このことは私だけに限らず、誰もが似たような感情を抱くのではないのでしょうか。人間の基本的欲求の一つに「承認欲求」というのがあり、先ほどの言葉はそれを満たすに十分だからです。企業にとつての存在意義にも似て、そのひと言に個々人としての「生きる価値」を感じるからに

他なりません。

ところで「役立つ」といっても大きくは二つあります。一つは「自分自身に役立つこと」：即ち、「給料が上がった」などが一例です。もう一つが「他人に役立つこと」で、「あなたがいて助かった」といわれた時などがありません。同じ「役立つ喜び」でも、両者を比較するとその大きさや、長続きをするのは後者ではないでしょうか。ちなみに「働く」とは「傍（はた）を楽にする」ということです。それが「自分が生きる為の手段」であることを一概に否定はしませんが、本来の働く目的は「周りにへの貢献」があつてこそそのものです。JAきたそらちの場合、行動原則には「自律利他・自立主体」と書かれており、まさにそれを表しているともいえそうです。この意味は非常に深いものがあり、組合員の皆さんと職員の一人ひとりがこれを自分のものにするのが明文化されています。

今年度は丑年ですね。今一度、互にその意味を「反芻」し、前に進むことができた素敵ですね。その為にも重要になってくるのがお互いに「ポジティブ・フィードバック」を心がけること。例えば「宮農関係で何か、あなたが職員からアドバイスをもらい少しでも役立った」としましょう。そうしたら素直な気持ちで「こう言えばよいのです」「有り難う。助かったよ」と。そのひと言が職員の背中をどれだけ押してくれるのか。そしてそれが、研修で私がしつこいほどに口酸っぱく講義をするよりも、そのたったひと言の方がはるかに心に響き、職員の成長に向けて有効であることは疑う余地はありません。

ん。となると、「職員を育てるのは組合員の責務だ」といってもよいのではないのでしょうか。その言葉を裏づけるお話しをしましょう。貴JAでもそうですが、私はカウンセラーという役割をもちながら、入組半年くらいの新入職員に対し個別面談をすることがあります。この頃になると仕事の内容や職場の雰囲気等も少しずつ肌を感じ「自分はJAきたそらちに入組してよかったのだろうか？」などと何かと悩み、疑問をもつ時期でもあるからです。うまく社会人としてソフトランディング出来るように、ということをお願いしながら。そのやりとりの際、「これまでの中で嬉しかったことは？」と問うと間違いなく出てくる答えに「褒められた時」があります。そこで「上司と組合員のどちらがより嬉しいですか？」と質問をすると、圧倒的多くは組合員の方々からといえます。いかがでしょうか？これに関して「名前を覚えてもらった時」などもありますので頭の片隅にいられておかれるとよいでしょう。

私は業種や業態等が違つたにしても企業とは結局、「人に始まり、人で終わる」と思っています。そうした意味もあり、今年新たに月刊誌「農家の友」に3月号から連載にて「土づくり」同様に「人づくり」も」というタイトルで筆を運ぶことになりました。JAはもとより、生産する農産物の違いはあれ農業者の皆さんも「経営は人に帰結する」と思ふのです。

【著者】石田邦雄（いしだくにお）氏

1946年北海道新得町生まれ。（有）石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかり易い研修が特徴。著書に「産業カウンセリング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。



JA職員 農作業実習報告 第4回

先月号に引き続き、若年職員(採用2年目)を対象としたJA非常勤役員宅における農作業実習につきまして、各実習生の感想や今後の抱負をご報告させていただきます。

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
金融共済部 共済課 平原 和泉 (平成31年4月入組)			
①深川支所一已地区 赤川 光男 代表監事宅	②令和2年8月3日～8月4日		
③花き採花、選別作業、花き出荷用段ボール組立作業			
④採花作業では採花できる花と出来ない花のサイズを見分けること、選花作業では枝を折ってしまわないようにすることや定められた長さ通りに揃え束ねて切ることなどが苦勞しました。2日間の作業だけでも体が痛くなり、この作業をほぼ毎日されている組合員の方々は本当に凄いなと思いました。 最初は緊張しましたが、実習先の皆様が温かく迎えて下さり、些細なことでも質問すると丁寧に教えて下さったため、とても働きやすい環境でした。慣れない作業で大変でしたが、実際に作業を体験することによって今まで知らなかったことや大変さ、楽しさを知ることができました。 普段は組合員の方々と業務内容以外の会話をする場面が少ないため、実習を通して様々なお話ができたことはとても新鮮で楽しかったです。 今回の実習に携わっていただいた関係者の方々には心より感謝いたします。誠にありがとうございました。			
			
金融共済深川支所 金融共済課 柴垣 由香利 (平成31年4月入組)			
①深川支所一已地区 赤川 光男 代表監事宅	②令和2年8月3日～8月4日		
③花き採花、選別作業、花き出荷用段ボール組立作業			
④今回の農作業実習は、主に花きの選別作業を行いました。普段行うことが出来ない作業のため、とても新鮮で楽しく、またコミュニケーションをとりながら仕事のできたので、あっという間に時間が過ぎていました。 今まで組合員さんと深く接することがなく、JAに対してどう思っているのか、どこを改善したらいいのかなどを教えて頂けたので、大変有意義な実習となりました。実習を終えて、これまで以上に迅速かつ正確に仕事をしていかなければならないという気持ちを持ってました。 実習先である赤川代表監事や関係者の皆様には本当にお世話になりました。2日間と短い実習でしたが、たくさんのことを学ぶことができたので、今後の業務に生かしていきたいと思います。誠にありがとうございました。			
			

営農懇談会開催

令和2年12月8日～12月11日
各地区で行われました懇談会内容をお知らせ致します。

●意見要望事項
●対応等

総務関係

●出資増口について、通常増口と調整増口を依頼されているが、増口を促すなら出資配当率を上げる等、出資金流出を留める方策を考えているのか。

●出資配当率は、毎年度のJA決算状況に応じ変動いたします。以前より配当率は下がっているのが現状ですが、今後も限られた財源の中で出資配当と事業分量配当のバランスを考慮し対応させて頂きます。

●組合員数が減少しているなか、職員数が増加しているのは何故か。

●現在のJA事業運営及び各施設・各拠点を維持する為には現況の職員数が必要であることをご理解願います。今後将来の収益見通しや組合員動向、

老朽施設状況等も考慮検討し、効率的な運営体制をとらなければならぬことは認識しておりますので、現状のJA事業機能を維持しながら生涯にわたり全組合員サポートを可能とする効率的事業運営体制構築を第7次経営計画期間中に進めてまいります。

●近年、営農懇談会の出席人数が減少していると感じる。これまで以上に組合員への支援を図り、JAきたそらちがブランド農協となるよう期待します。

農業振興関係

●令和2年度より本格的に農福連携が始まり、障がい者の方に熱心に働いて頂き大変感謝を申し上げます。利用する農家側に

も十分メリットがある中で、次年度に向け就業時間の延長や人員増加の検討をお願いしたい。

●次年度に向け、障がい者、利用者（農家）双方がよりメリットが出るよう、さらに取り組みを強化してまいります。

●（株）深川未来ファームの研修生並びに新規参入者の状況についてお聞かせ願いたい。

●（株）深川未来ファームは平成29年より研修事業を行っていますが、現在のところ独立就農された方はいません。次年度以降、ようやく1名の方が独立就農する予定で現在準備を進めています。過去からの農業人フェア等の積極的参加により、（株）深川未来ファームへの研修希望者が増えてきていますので、引き続き新規就農希望者の確保

と今後は就農先の確保に向け取り進めてまいります。

●厳しい販売環境の中においてJAに努力していただいているが、品目によつては厳しいものもある。米は「生産の目安」を守っていない県もあり、生産基盤が衰退し価格への不安感がある。過剰在庫解消に向けた需給バランスをとるよう、輸入米を含めた対応を国へ強く要請して頂きたい。

●米の需給バランス均衡は価格形成においても非常に重要であります。今後米主産地として安定供給していくことが重要です。国への要請を継続して行なってまいります。

●ネオニコチノイド系農薬の使用について、人体への影響が懸念される。

より安全な農産物を生産供給するうえで使用を避けるべきではないか。国の基準もあるが、JA独自基準を検討してはどうか。

●消費者へ安全・安心な農産物を供給していく事は大切ですが、その一方で安定的に生産を行うには農薬の適正使用は不可欠です。農薬使用に当たって国の基準に基づいて使用することを徹底していますが、安全性が不安視されている部分もあり、今後再評価されとの情報もあります。それらの結果を踏まえ対応してまいります。



担い手関係

●担い手支援室は現状の人員体制（3名）のまま、今後も進めるのか。

●職員数に余裕はありませんが、密着力の強化に努め、今後営農センター集約後に検討を進めてまいります。

●担い手支援室は組合員へタイムリーな情報提供を行うJA全体のセールスマンとして捉えている。必要な部署であるので、引き続き支援をお願いしたい。

販売関係

●米の概算金並びに仮渡金に金利は掛かるのか。

●令和2年産米より金利の徴収は行いません。

●大豆のコンテナについて、内袋に雑草種子等が残っていることが有るので、取り扱いに十分気を付けて欲しい。

●今後、異物混入が無いよう、確認作業の徹底を図ってまいります。

●大豆の施設調整に時間を要している原因は何か。

●本年産の出荷数量が増加したことで併せ、汚粒クリーニングに時間を要していることによるものです。

●JAの米集荷率が低いと感じる。JAへの出荷誘導をできる様な方策を検討頂きたい。

●令和2年産より初めての試みで買取販売（ゆめぴりか）を行いました。概ね集荷率向上に効果があったように思われます。地区による集荷率に差があり、最終数量も未確定な状況でありますので、今後内容を精査検証し、更なる集荷率向上に資する取り組みを検討・提案いたします。

●そば新品種「キタミツキ」の特性についてお聞かせ願いたい。

●令和2年8箇所試験

栽培を実施しました。「キタワセ」より収量性が高く、登熟が早いとの報告があります。食味も「キタワセ」と同等の評価であり、「キタワセ」が今後北海道の優良品種から外れることから「キタミツキ」へシフトすることを検討しています。

●米の概算金で契約内、超過米で格差が生じるのは何故か。

●生産者との事前契約を基本に販売推進を実施することで販売価格の向上を図っております。確約契約を頂いた数量に有利性が無いと契約そのものに意味がなくなってしまうのでご理解をお願いいたします。

●そば調整施設（旧小豆施設）の調整能力は5万俵と聞いていたが、令和2年産の取扱量はどの程度か。また、そば調整施設が老朽化しているが、今後改修計画はあるのか。現状のそば調整施設は従来施設（旧小豆施設）の

改造であり、今後取扱量が増加することを考慮した場合、施設調整能力を上げる事を検討頂きたい。また、補助金を活用し色彩選別機導入を検討願いたい。

●令和2年産は2万7千俵を調整しました。令和元年に比重選別機を入れ替えし選別能力をアップしていますが、令和2年は2万7千俵を処理するにあたり10月末まで掛かっており、今後数量が増加した場合、期間を延長し調整しなければなりません。改修予定としては、現在のところ建て替えではなく、検討しております。長期計画では色彩選別機の導入も予定しております。今後は、利用料との兼ね合いを考慮し、生産者協議を踏まえながら協議・検討を進めてまいります。

●玄そばのままの販売に限らず、ムキ実まで加工し販売することを検討してはどうか。

●ムキ実についてはそば

穀処分の関係から本州での需要があります。幌加内地区はムキ実施設があり稼働率も高く、今後も需要が増すと思われますが、初期投資が非常に大きいことから、すぐに施設整備を図ることは出来ません。今後は補助事業の活用も視野に入れ検討を進め、有利販売に繋げていきたいと考えます。

●そばの新品種について、現在のコロナ禍のなか収量増となる品種に移行し価格への影響は大丈夫か。

●「キタミツキ」は生育にバラツキが無く、本年度北海道の優良品種に指定されました。次年度、主食用米からの転換でそば作付面積が増加することと想定されますが、安定生産、安定供給による産地の信頼向上と収量増が期待されることから作付けへのご理解をお願いいたします。

「協同組合ネット北海道通信」

令和2年12月：JA北海道中央会協同活動推進室

第1号

「協同組合ネット北海道」の組織発足

○2018年開催の第29回JA北海道大会において、総合事業の維持、地域課題の解決のため、他の協同組合・企業との連携化により総合性が発揮できる事業運営の転換を検討するとし、北海道協同組合間連絡協議会の改組を基本とし、業態の違うより多くの協同組合組織を仲間とした「協同組合ネット北海道」（仮称）結成に向けた調査・検討を行うことを決議しました。そして、コロナ禍のなか、令和2年6月17日に「協同組合ネット北海道」は、18団体（うちオブザーバー参加2団体）により発足致しました。協同組合間の連携により、地域の課題解決に向けて取り組み、社会貢献活動への活動を展開することとしています。

協同組合ネット北海道の設立目的

○単一の協同組合では、解決できない課題について、複数の協同組合の連携で解決し、持続可能な北海道経済と地域住民の生活向上に寄与することを目指すとともに、協同組合への大きな期待に応えるべく、社会貢献活動の実践に取り組むことを目的としています。連携のキーワードは、“ゆるやか”“あいのり”“やってみる”です。

設立からの取り組み経過

- 設立から、8団体による事務局体制を確立し、毎月第2水曜日に事務局会議を開催し、具体的な検討を図っております。
- 課題を①共通課題と②個別課題に区分し、各課題の担当事務局を決め、担当事務局が主体的に原案の検討・整理をし、全体で協議する方式として推進しております。
- 具体的な、共通課題は、次の3点の取り組みです。
 - （1）地域づくり
 - （2）環境対策
 - （3）災害支援活動
- 個別課題は、次の3点の取り組みです。
 - （1）協同組合間の学習交流会の開催
 - （2）内外広報活動
 - （3）公開講演会の開催
- 今年度は、コロナ禍において、計画どおり実施できないテーマもあり、今後の状況を踏まえ、できることから具体的に着手することとしています。

課題ごとの検討内容

<共通課題テーマ>

①地域づくり

ア. こども食堂の支援活動

- ・子ども食堂を支援する団体の支援活動の実施

道内の約170の子ども食堂を支援する「こども食堂北海道ネットワーク」(約65の子ども食堂が加入)の支援活動を実施していくこととしました。～金銭的支援、食材等の提供、食育活動の推進(具体的な支援活動の内容はこれから検討)

イ. 高齢者支援活動の推進

- ・高齢者の居場所づくり、健康推進に向けて「まる元・ゆる元」活動に取り組んでいく方向を確認。まずは、事務局8団体の担当者が参加して、ゆる元指導者認定講座を開催することとしました。(令和3年1月)

*まる元＝「地域まるごと元気アッププログラム」 ゆる元＝「まる元のゆるやか版」

②環境対策

○加入組織間で“あいのり”して取り組めることから活動することとしました。

ア. 江別市エコセンターのあいのり活動の検討

イ. SDGs(環境対策)の各協同組合の取り組み状況を共有し、今後、具体的な活動を検討。

ウ. 脱炭素の取り組みにかかる共通課題の整理。

③災害支援対策

○各協同組合組織の災害支援活動の取り組み状況およびBCPの内容調査による、共通支援活動の検討。

○各組織の災害支援体制および災害備蓄体制調査による共通支援活動の整理検討。

<個別課題テーマ>

①SDGsの取り組み～定期的な勉強会の実施

②公開講演会の開催

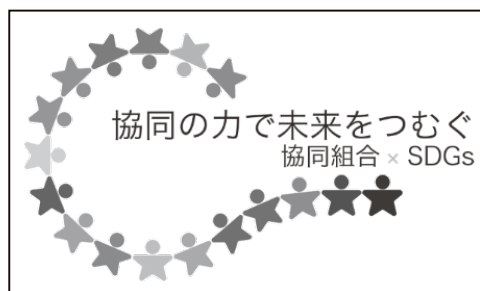
③協同組合間学習交流会の開催

④内外広報活動の推進 等

*今年度は、コロナ禍にあって、開催が困難で中止・延期のテーマもあります。

*構成18団体は、北海道農業協同組合中央会、北海道信用農業協同組合連合会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道厚生農業協同組合連合会、全国共済農業協同組合連合会北海道本部、北海道漁業協同組合連合会、北海道信用漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会、北海道生活協同組合連合会、生活協同組合コープさっぽろ、生活協同組合連合会大学生協事業連合、北海道労働金庫、ワーカーズコープ連合会センター事業団北海道事業本部、こくみん共済coop北海道推進本部、北海道報徳社、北海道大学大学院農学研究院、北海道農業ジャーナリストの会(オブザーバー)、日本協同組合連携機構(オブザーバー)で構成。

(太字の組織は、事務局8団体)



耳鳴の治療 ― T R T 療法 ―

医療法人社団 本間クリニック 理事長 本間

裕



耳鳴を訴えて耳鼻咽喉科を受診する患者さんは少なくありません。今まで一度も耳鳴を感じたことがないという人はおそらくいないと思います。静かな時にシーンという耳鳴がしたり、飛行機に乗って急激に気圧が変化する場合には、一時的に耳鳴を感じることがあります。このような耳鳴は病気ではありません。しかし耳鳴のなかには重大な病気の初発症状であったり、耳鳴が大きくて日常生活に支障を来したりする場合があります。この場合には、耳鼻咽喉科を受診して検査や治療を受ける必要があります。

耳鳴と難聴は表裏一体で、耳鳴を訴える患者さんの多くは難聴を伴っています。耳鳴の大きさと難聴の程度とは一致することが多いですが、時に聴力は悪くないのに耳鳴がとても大きい場合や、またその逆の場合もあります。

耳鳴は内耳にある音を感じずる感覚細胞（有毛細胞）の障害により生じます。原因としてはメニエール病や、抗がん剤などの薬剤による内耳障害、大きな音を聴いた時に起こる難聴（騒音性難聴、音響外傷）、突然急に難聴が起こる突発性難聴などが挙げられますが、近年は単純に加齢によるものが比較的多いです。また、聴神経腫瘍という、内耳と脳をつなぐ神経でできる腫瘍も原因のひとつです。これはMRIによる検査で発見が可能です。

耳鳴りに対しては、血流改善剤、ビタミン剤、漢方薬などが処方されますが、目立った効果が得られない方もおられます。難聴がさらに進行すると耳鳴りもますます悪化することも良く見られます。特効薬的な薬は現在ありません。

器具を用いる耳鳴りの治療法として「T R T 療法」があります。T R T 療法とは、T C I と呼ばれる補聴器に似た「耳鳴り治療器」を用いて、「脳を耳鳴りの音に順応させるように訓練する」方法で、現在欧米ではかなり普及しています。意識上に知覚される耳鳴とは、脳の中で起きる現象です。意識上が耳鳴りに支配されないように、徐々に「慣れ」の状態に持つていくこうとする方法です。

実際のT R T 療法は、カウンセリングから始まります。耳鳴りとはどんなものかを理解して頂き、馴化（じゅんか）あるいは順応（じゅんのう）という現象について学習します。また、心理的なストレスや不安感が耳鳴りに与える影響など、治療に必要な知識を充分理解していただいた上で、T C I を装用してもらいます。少し耳障りなぐらいの雑音を使い、1日8時間の装用を目標に、調整していきます。脳が学習して、自覚的な耳鳴りが小さくなるまではある程度の時間がかかりますので、すぐに効果が出るとは限りません。現在はまだ数居の高い治療法ですが、耳鳴りが気になって仕方が無いという方は、耳鼻咽喉科を受診し、聴力検査などでの診断を受け、どのような治療方法があるかを相談して頂くことをお勧めいたします。近い将来にはT R T 療法が広く用いられると良いかと思っています。（現在健康保険の対象にはならないので、T C I を購入することになり実費がかかります）



全国農業協同組合中央会は、「国消国産※」の理解醸成をすすめるため、情報発信のメインターゲットとする若年層に強い影響力を持つアイドルグループ「乃木坂 46」を起用し、特設WEBサイトを展開しております。

特設WEBサイトで展開するクイズコンテンツを用いて、国内農業が抱える諸課題（生産基盤の弱体化、食料自給率の低迷等）について、乃木坂 46 のメンバーがわかりやすく解説しており、メンバーと楽しく学べるスタイルとなっております。

その他、メンバーからの国内農業に対する応援メッセージの掲載や、メンバーがそれぞれの「推し食材」を食べる動画も公開しておりますので、是非ご覧ください。

○特設WEBサイト

HPアドレス：<https://www.asahi.com/ads/nogizaka46ja/>

※「国消国産」とは、国民が必要とし消費する食料は、その国で生産することが基本であるという考え方。



JA 北海道信連



JAバンク北海道は、2018年より地域活性化を目的に、ファイターズとスポンサー契約を締結しています。この権益を活用して、これまでキャンペーン等を実施してまいりました。また、ファイターズがCSR活動として実施している「ゆきのね奨励金」にも協賛し、子どもたちを対象にしたウィンタースポーツの普及を支援しています。

先ごろ、「ゆきのね奨励金」の贈呈式が札幌ドームで催されました。



JA 共済連北海道



JA共済連北海道では、地域貢献活動の一環として、帯広農業高校と岩見沢農業高校の2つの農業高校に、実践教育用の農業機械としてトラクターを寄贈いたしました。

この活動は農業後継者の育成支援を目的に、令和2年度から実施することといたしました。

この取り組みによって、農業の未来を担う学生たちの実習環境がさらに向上し、学生たちがより実践的な知識や技術を習得することで、将来、農業分野のスペシャリストや農業後継者として活躍することを願っています。

ホクレン



ホクレングリーンネットショップが2月から「HOKUREN GREEN +PLUS (ホクレングリーンプラス)」にリニューアル！引き続き全国のお客さまに、北海道産農畜産物のコアファンとなっていだけるようなオンラインショップを運営してまいります。出品希望商品などございましたら、お気軽にご相談ください。



<https://www.hokuren-greenplus.jp>



JA 北海道厚生連



このたび本会では、組合員ならびに地域住民の皆様への情報発信の場として、公式 Twitter を開設いたしました。本会の情報はもちろん、各事業所におけるイベントの開催情報やその様子など、四季折々の情報を発信してまいります。開設したばかりではございますが、皆様にとって有益な情報を発信できるよう努めてまいりますので、QRコードより当アカウントのフォロー登録をお願いいたします。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

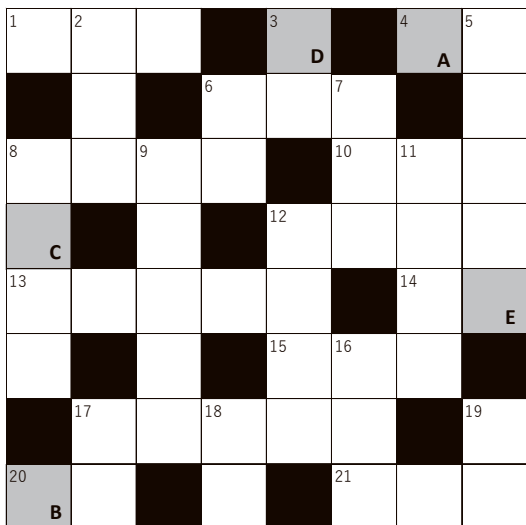
大地がひとを強くする。

AGRIACTION!
HOKKAIDO



クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

12月号の正解は

「オオミソカ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

北 竜 町 田中 和子 様
北 竜 町 永井 悦子 様
北 竜 町 山森美陽子 様

【タテのカギ】

- いつでも火が起こせるよう消さずに残しておく小さな火
- たまにしか起こらないこと、「○」に見る才能
- 景気が良い事、⇔不景気
- 場所がわからない場面で人に尋ねる時などに使う指示代名詞
- 力士が土俵の上で行う競技
- 選挙やクジなどで選出されること
- 一人または数人が大声で笑うこと、「ドリフ大○○○○○」
- 梅の実をシソの葉とともに塩漬けにした食べ物
- 動物の頭・首・手・足を除いた体の部分の総称
- 裁判などで当事者双方が話し合い譲歩することによって解決すること
- 両親の男兄弟のこと
- 東北地方の方言で「牛」のこと、「赤○○」
- 建築物で天井と対になる平面の部分

【ヨコのカギ】

- 思い切って大きな決断を下すこと、「清水の○○○から飛び降りる」
- 自然環境保護に配慮している意、「エコロジー」の略
- 礼装用の婦人服、「ウェディング○○○」
- 器械体操運動で使う木で作られた台形状の箱
- 得をすること、または利益、「まる○○○」「ぼろ○○○」
- 同じ姓、同じ名前であること「同姓○○○○」
- 今週の前の週
- 企業が財政状態などを明らかにするため入金や取引を帳簿に記入する方法
- 物をこすって洗うため藁やシュロの毛を束ねて作られたもの、「束子」
- 北海道出身のお笑いコンビ「タカアンドトシ」の代表的なギャグ
- 保ち続けること、「日本記録○者」
- 「なごり雪」を代表曲とする女性フォークシンガー

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切2月28日消印有効で当選者とクイズの答えは令和3年4月号に掲載します。

【送付先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課 FAXの場合は 0164-22-8611

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

一月俳句

●雨電俳句会

お財布に眠れる美女や一葉忌
露天湯の首を廻せば雪のかき
捨て兼ねし物あり年を惜しみけり
短日や追われて命縮むこと
玉子酒ぐつと飲み干し咳止める
枯木山次の豊かさ潜ませて
人集うくしゃみをぐつと我慢する

有田 茉莉
大林 アヤ子
北川 満江
小山 邦男
松本 五月
宮武 めぐみ
吉見 サヨ子

●「道」俳句会 北竜支部

初春や自肅の中の献寿かな
初夢や水漏る畦を直しいて
冬星の雫や胸のペンダント
炭山の匂いどこかに初手水
正月や足跡さえもコロナかな
平凡が一番幸せ正月来
泣きにゆく友あり雪の道駆けて

山本 玲子
山岸 正俊
阿部 れい子
吉尾 広子
山下 好晴
中島 雅子
宮脇 美和子

●土筆俳句会

雪積むやぬけ穴覗く野鼠のみち
かぐはしき小径を行きぬ初詣
枯大樹十五のほやのぶら下がり
読み初めは上達願ひ師の句集
大旦等しく暮るる日も新た
猛吹雪の当らぬ予報ほつとする
三が日襷をつなぐドラマ観る
置炬燵猫とうたたね時惜しむ
八方に潜むコロナや札納め

高尾 美津子
池田 美知
山川 輝子
南川 富美子
佐藤 英三子
滝口 富美子
菅原 優子
森田 裕美子
小橋 厚子

第13回理事会〈令和2年12月25日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 第3四半期監査報告について
3. 会計監査人の再任の決定について
4. 内部監査報告について
5. 組合員の加入脱退について
6. 11月末推定決算について
7. 財務報告及び事業実績について
8. 固定資産の修繕について
9. 決算実地棚卸立会について
10. 新年交礼会中止に伴う取り進めについて
11. 職員の人事及び業務事故について
12. 令和2年度提案表彰について
13. 貸出金の貸付報告について
14. 大口貸出先（信用供与1億円超）の概況について
15. クミカン精算状況について
16. 米・水田をめぐる情勢と今後の対応について

17. 令和3年産米の「生産の目安」等について
18. 令和3年産米生産に向けた北海道の推進方策について
19. 令和1年産 うるち米最終精算について
20. 令和1年産 もち米追加概算払いについて
21. 令和1年産 加工用・輸出用米最終精算について
22. 令和1年産 飼料用米最終精算について
23. 令和2年産 超過米出荷奨励金について
24. 令和1年産 小麦最終精算について
25. 令和2年産 小麦二次概算金について
26. 令和1年産 大豆最終精算について
27. 令和1年産 雑穀最終精算について
28. 畜産物の販売状況について
29. 青果・花き集荷販売実績について
30. 大口農薬奨励金の支払いについて
31. 経済部事業実績について

議案第1号 令和3年度 内部監査部門事業計画について

議案第2号 組合員の出資金持分譲渡について

議案第3号 固定資産の取得について

議案第4号 育児及び介護休業規程の一部改正について

議案第5号 貸出金の貸付決定について

議案第6号 理事に対する貸出承認について

議案第7号 令和1年産 米違約金について

議案第8号 令和2年産 雑穀概算金支払いについて

組合員の動き

(令和2年12月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,376	16	50	1,342
	団体	87	2	0	89
准組合員	個人	5,903	65	64	5,904
	団体	317	1	5	313
正組合員戸数		988	1	25	964

※今月号の新風は休載致します。



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和2年12月実績

発電電力

7,968kwh

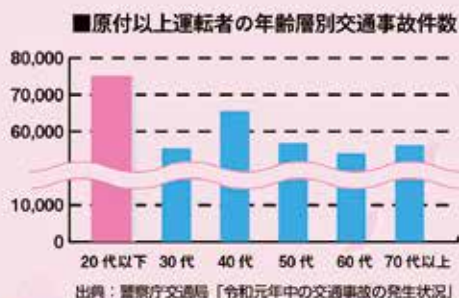
計画対比 Δ5,004kwh
前年対比 Δ4,785kwh

金融共済部 共済課からのお知らせ

新生活を迎える皆さまへ

JAの自動車共済で 万全なスタートを！

JA共済
R3.1月



年齢層別の事故件数は **20代以下が最も多くなっています**。
そこで、万一に備えるためには十分な保障が必要です。
特におススメは**クルマスター**！

令和2年1月に6等級・7等級の
新規契約の掛金率の見直しを行い、
以前よりも**少ないご負担で加入**
いただけるようになりました。



自動車共済クルマスターなら

リスクを幅広くカバーする手厚い保障が安心です。

相手方への保障	「対人賠償」「対物賠償」
ご自身とご家族の保障	「人身傷害保障」「傷害定額給付保障」
お車の保障	「車両保障」「車両諸費用保障特約」

プラス



日常生活賠償責任特約

マモルモア

で日常生活にも安心を。

JA共済
オリジナル

お得な掛金で、負担が軽くなるかもしれません。

「自賠責共済セット割引」

対人賠償の
共済掛金 **7% 割引**

「複数契約割引」

共済掛金 **5% 割引**

「新車割引」

共済掛金^(※) **最高5% 割引**

※車両保障、対人賠償、対物賠償、人身傷害保障ならびに傷害定額給付保障の共済掛金に適用します。

「自動継続割引」

共済掛金 **2% 割引**

「ASV 割引」

共済掛金^(※) **9% 割引**

※車両保障、対人賠償、対物賠償、人身傷害保障、傷害定額給付保障ならびに車両建替用保障特約（代車費用のみ）の共済掛金に適用します。

※上記以外にも「長期優良契約割引」「農業用貨物車割引」などがあります。 ※割引の適用には所定の条件があります。

もしものときに頼れるサービス・体制が充実しています。

- 24時間365日の事故受付
- レッカーサービス
- ロードサービス
- 夜間休日現場急行サービス など

事故対応窓口……全国約 **2,450** か所
損害調査
サービス担当者……全国約 **5,360** 人
(令和2年4月1日現在)

※サービスのご利用にあたっては所定の条件があります。

JA共済事故対応
利用者満足度
94.3%

※JA自動車共済利用実態調査。令和元年度事故対応サービス全般の満足度実測（JA共済調べ）へ満足・やや満足の高割合、小数点第2位を四捨五入

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。



キャンペーンWebサイトはこちら
<https://car-cp.ja-kyosai.or.jp>



お問い合わせ

JAきたそらち

本 所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨 電 支 所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北 電 支 所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024